

# 消費者発信型メディア(CGM)を担う インターネット事業者向けWWWサービスプラットフォーム

小林 敦\* 佐藤慎太郎\*\*  
倉持 晃\*  
山口能一\*\*

Internet Service Providers' Server Platform for Commercial Home Page Service.

Atsushi Kobayashi, Akira Kuramochi, Yoshikazu Yamaguchi, Shintaro Sato

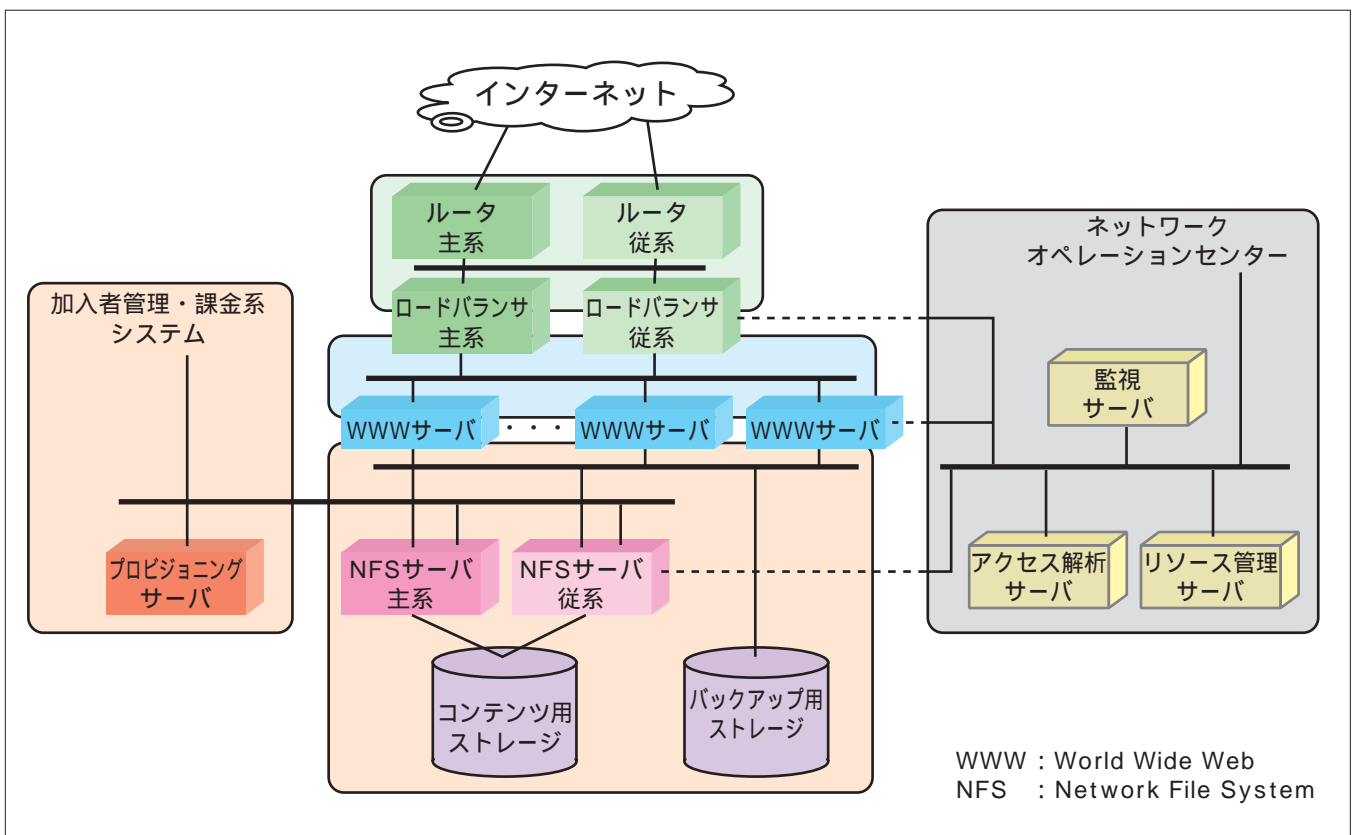
## 要 旨

インターネットが社会の情報インフラとして定着し、個人がインターネット上に情報を公開し消費者発信型メディア(Consumer Generated Media: CGM)を形成する時代となった。これを担うインターネット事業者(Internet Service Provider: ISP)のサービス運営の責務は極めて大きくなっている。

今回、三菱電機と三菱電機インフォメーションシステムズ(株) (MDIS)では、数百万人規模の加入者を持つISPにおけるサービスサーバ基盤(プラットフォーム)を構築・納入した。このサービスプラットフォームは、数百万人規模の加入者が個人ホームページをインターネット上に公開するためのホスティングサーバ群であり、大規模、高性能、高信頼と、高度なセキュリティを実現している。また、新規加

入者の登録やサービス変更に柔軟に対応でき、ページ閲覧者からのアクセス集中時にも帯域規制機能により均質な応答性を確保している。さらに、システム運用者に対しては、緻密な監視機能によって、問題発生時の速やかな検知と復旧措置を可能とし、運用コストの低減にも寄与している。

このようなインターネットサービス分野のシステムは、事業者とシステムインテグレータが一体となった運用維持も重要である。インターネット上で新しいサイバー攻撃が現れたり、使用している製品に脆弱(ぜいじゃく)性が発見された場合には、速やかに対策をとらなければならないなど、サービスプラットフォームは常に運用で進化させていくものであり、日々の運用ノウハウの蓄積が事業者とシステムインテグレータの財産であると考えている。



## インターネットサービス向けに最適化されたホスティングサーバ群

フロント側WWWサーバはロードバランサによるn+1冗長構成(必要数+予備1)、バックヤード側サーバはコールドスタンバイの二重サーバ構成とし、ネットワークはサービス公開系、バックヤード処理系、ストレージ管理系、プロビジョニング系及び運用監視系と5つのセグメントに分離している。システム全体で900Mbps以上のスループット性能を実現している。